

地域全体の活性化や新たな都市空間としてのにぎわいの創出が図られるなど、まちづくりにも広く貢献できる。地域に根差し、市民に親しまれる教育研究拠点を指すため、積極的な大学開放や地域貢献が図れる立地環境として内港地区がふさわしいと考えている。

◇関連質問  
・4年制大学の設置場所について  
(明政会)

**福山市グラウンド・ゴルフ場のオープン(水曜会)**

**問** 加茂町に整備中のグラウンド・ゴルフ場は、日本グラウンド・ゴルフ協会認定コースとして芝張りの7コース(56ホール)に、クラブハウスやコース内に屋外便所、休憩所が整備された、西日本でも屈指の施設となるようである。芝の養生期間に数カ月が必要と聞いているが、オープンはいつ頃か。また、大会開催時には、どの程度の参加者があると予測しているか。

**答** オープンの時期は、芝張り工事後に芝生の養生期間として4、



オープンに向けて整備中の福山市グラウンド・ゴルフ場

5カ月程度要するので、芝の生育状態を見ながら7月下旬を目途に考えている。参加者数は、通常は400人から800人程度を見込んでおり、大規模大会では最大1500人程度は可能と考えている。

**市民病院の将来構想(水曜会)**

**問** 病院施設整備事業として、がん診療関係部門の集約と充実のための計画が示されたが、市民が最新の機能を備えた高度医療などの公的医療の恩恵を受けるためにも、その取り組みに期待する。20年度には、国の示

す公立病院改革ガイドラインに基<sup>※</sup>づく改革プランの策定も求められており、病院の将来構想を明らかにする時期にあると考え

**答** 病院施設整備では、これまで救命救急センターを柱とした増築事業により、病院機能の強化と整備を図ってきたが、地域がん診療連携拠点病院として、外来化学療法室、内視鏡室など診療体制のさらなる充実に向けた整備を目指しており、あわせて国の示す公立病院改革ガイドラインを視野に入れた将来計画を検討していく。

◇関連質問  
・医療体制の整備について (市民連合)  
・公立病院改革ガイドラインについて (誠友会)  
・医師の確保について (日本共産党)

**学校給食での安心・安全(明政会)**

**問** 中国製食材を原因とする中毒事件をきっかけに食の安

全が叫ばれ、日本の食料自給率39%という事実の深刻さが国民的に理解され始めた。子どもたちへの食の安全を保障し、環境教育の一環ともなる学校給食の地産地消に向け、農家や農協などと協議し、流通する仕組みを確立する必要があると考えるが、取り組み状況は。



給食の準備

**答** 学校給食用物資の選定では、国内産を優先的に使用し、産地や流通ルート、農薬の使用状況などに注意している。地産地消に向けた流通の仕組みについては、農家からの直接買い付けなど関係者と

※がん診療連携拠点病院：全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるように、がん医療の充実を目指して、厚生労働大臣が指定する医療機関で、福山市民病院は18年8月24日に指定を受けている。